

## — 第55回日本定位・機能神経外科学会優秀演題 —

- 広範囲 DREZotomy を施行した脊髄損傷後疼痛の1例  
国立病院機構長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター 脳神経外科 浦崎永一郎 他……………1
- 中枢性脳卒中後疼痛の治療戦略：神経刺激療法を中心に  
大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学 細見 晃一 他……………9
- 術前パーキンソン病症状の進行度と  
脳深部刺激療法術後の症状経過  
千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科 樋口 佳則 他……………17
- 脊髄刺激療法トライアル期間における lead migration の検討  
北海道大学 脳神経外科 笹森 徹 他……………22
- 両側視床下核刺激後にジスキネジアの制御が困難となった  
パーキンソン病患者に対して淡蒼球刺激追加し  
症状の改善がみられた2症例  
金沢脳神経外科病院 脳神経外科 旭 雄士 他……………27
- Schaltenbrand and Wahren stereotactic atlas に対し、  
仮想補間アトラスの作成は可能か？  
国立病院機構青森病院 脳神経外科 高橋 敏夫 …………… 33
- 大脳基底核回路の形態学的解析  
同志社大学大学院 脳科学研究科 神経回路形態部門 藤山 文乃 …………… 38
- 重症頭部外傷3症例に対する ITB 療法の長期経過  
熊本託麻台リハビリテーション病院 脳神経外科 村上 雅二 他……………43
- 視床下核刺激療法がパーキンソン病の認知機能に及ぼす影響  
岡山大学大学院 脳神経外科 若森 孝彰 他……………50
- 神経変性疾患に対するバクロフェン髄腔内持続投与治療  
大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 押野 悟 他……………55
- Complex regional pain syndrome (CRPS) に対して  
Combined neuromodulation (SCS and ITB) が  
有効であった1例  
済生会松山病院 脳神経外科 田中 寿知 ……………62
- 医工融合による BMI 用体内埋込型脳波計の実用化開発  
大阪大学国際医工情報センター 臨床神経工学 平田 雅之 他……………67
- 「真の」アンメットニーズに基づいた医療機器開発：  
東北大学病院ベッドサイドソリューションプログラム (ASU) と  
バイオデザイン  
東北大学病院 臨床研究推進センター バイオデザイン部門 中川 敦寛 他……………73

■ ジストニアに対する脳深部刺激療法： 淡蒼球刺激と視床刺激の併用 徳島大学大学院医歯薬学研究部 脳神経外科 牟礼 英生 他……………80	
■ 両側視床下核 DBS 後に持続したパーキンソン病の 運動合併症に対するレボドパ治療 都立神経病院 脳神経内科 横地 房子 他……………87	
■ DYT 遺伝子異常の全身性ジストニアに対し、 両側淡蒼球刺激術が有効であった 1 例 名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科 中坪 大輔 他……………91	
<hr/>	
— 学会記事 —	
第 55 回日本定位・機能神経外科学会 理事会議事録…………… 96	
会告：第 56 回日本定位・機能神経外科学会 …………… 99	
機能的定位脳手術施設認定・技術認定に関するお知らせ…………… 100	
2016 年 機能的定位脳手術認定施設…………… 100	
日本定位・機能神経外科学会 会則…………… 101	
投稿規定 —機能的脳神経外科—…………… 103	